

しまねの自然

vol.52
令和5年3月

しまねの自然公園施設がリニューアル！！ 自然とふれ合おう



【お知らせ】

島根県自然公園協会
施策に対する要望 環境省へ提出 ----- 2

【自然観察会】

地倉沼チョウジソウ観察会 ----- 2

【自然観察会】

吾妻山自然観察紅葉登山 ----- 2

【お知らせ】

自然公園施設がリニューアル！ ----- 3

【お知らせ】

三瓶自然館サヒメル
最新のプラネタリウムにリニューアル！ ----- 4

【お知らせ】

サヒメル春の企画展 ----- 4

【コラム】

隠岐ユネスコ世界ジオパークが
再認定されました ----- 5

【コラム】

自然公園を活用した誘客促進補助金の活用事例 ----- 5

【事業紹介】

みんなで守る郷土の自然・
みんなでつくる身近な自然観察路の選定について ----- 6

【事業紹介】

生物多様性自然観察会事業 ----- 6

【研修】

新任自然保護レンジャー研修会 ----- 7

【研修】

自然観察指導員研修会 ----- 7

【表彰】

表彰受賞者紹介 ----- 8

【お知らせ】

条件付き特定外来生物の指定
しまねの外来種ガイドを発行！ ----- 8

【発行】 島根県自然公園協会

〒690-8501 島根県松江市殿町 128 番地 島根県自然環境課内

TEL : 0852-22-6377 FAX : 0852-26-2142



島根県自然公園協会事業の紹介

島根県自然公園協会要望活動 ～施策に対する要望書が環境省へ提出されました!!～

令和4年11月8日に、楯野会長が奥田自然環境局長に要望書を手渡されました。国立、国定公園などの歩道やトイレ、東屋などの整備や修繕を行う事業の予算増加や県立自然公園等への事業拡大、国立公園満喫プロジェクトに選定され先駆的な取組を行っている大山隠岐国立公園への継続支援などを要望しました。

当日は臨時国会の会期中であったため、自然環境局長の対応となりましたが、要望書を受け取られた奥田局長は、当県へ来県したことがあり「島根県は自然豊かな良いところの印象がある。自然公園の保護、更なる利用に向けた取組を引き続きお願いしたい。」とのコメントを頂きました。

要望書は、環境省自然環境整備課長、環境省国立公園課長等へも手渡しを行い、環境大臣等への要望書も預けました。



地倉沼 チョウジソウ 観察会

快晴の5月29日(日)、青野山県立自然公園内の地倉沼で地元の保護団体「千倉沼を守る会」と公民館が連携し、毎年恒例のチョウジソウ観察会を開催しました。

観察会では、島根県立三瓶自然館サヒメルの井上雅仁先生を講師にお迎えし、丁寧でわかりやすい解説をいただきました。

火山の噴出によってせきとめられた標高約430mの天然湖沼である地倉沼の成り立ちに思いをはせ、辺り一面に咲き乱れている可愛らしくも貴重な「チョウジソウ」を間近に見て、ハンノキの大群落のほか貴重な湿生植物が点在する様子からふるさとの宝や魅力をしっかり感じる事ができました。

また地倉沼を巡る観察ルートは、利用者が安心・安全に利用できるよう、千倉沼を守る会が草刈りや木道の維持管理等を積極的に行っているため、大変歩きやすくなっています。今年も町内外問わず、子どもから大人まで幅広い参加をいただき賑やかに開催しました。

今後も、地域の貴重な自然と触れ合える機会として、開催しますので、ぜひご参加ください。

ちくらぬま



チョウジソウ
(島根県レッドデータブック 絶滅危惧Ⅰ類)



吾妻山自然観察紅葉登山

紅葉の吾妻山を楽しむ!!

奥出雲町立馬木公民館では10月29日(土)に地域住民が自然に親しむことを目的に毎年恒例となっている比婆道後帝釈国定公園の一部である吾妻山へ紅葉登山を実施しました。すがすがしい秋晴れの下、町内外から18名の参加を得て秋の紅葉を満喫しました。

今回は環境省自然公園指導員の佐佐木幸雄さんに講師をお願いして、登山道周辺に生息している草花の説明を受けながらゆっくりと登山を楽しみました。山頂では、360°の大パノラマを体験し、鳥取県の大山や大田市の三瓶山などの中国山地の山々や、宍道湖・中海をはじめ日本海までも見ることができました。また昼食後には、キャンプ場で奥出雲町教育委員会の石原弘治社会教育主事から、火おこしについての技術を火打石や昔ながらの器具を使って実践を交えながら説明を受け、あらためて火おこしの難しさを認識しました。

最後に、吾妻山から見る中国山地の紅葉は絶景であり、すばらしい景色を堪能できます。今後も企画しますので多数の皆様の参加をお待ちしています。



登山開始!
ちょっと寒かったですが、歩き出せば・・・



大膳原で観察会
植物の観察、説明を聞いています。



吾妻山山頂付近
あたりの景色にうっとり!

自然公園施設がリニューアル！！

ぜひ、お出かけください

雲南市 竜頭八重滝県立自然公園

令和3年7月豪雨の影響で立ち入りを制限していましたが、復旧工事等が完了し、令和4年春より規制を解除しています。

落差40mの雄滝と30mの雌滝からなる龍頭が滝は、中国地方随一の名瀑と言われ、八重滝とともに「日本の滝百選」に選ばれています。雄滝の裏側は「裏見の滝」と呼ばれ、百畳ほどの見事な岩窟があり、滝観音が祭られています。

八重滝は約1.5kmの清流に8つの滝（下流より猿飛滝、滝尻滝、紅葉滝、河鹿滝、姥滝、姫滝、八塩滝、八汐滝）があり、季節の変化を楽しみながら散策ができます。特に秋には紅葉と清流の美しい風景が見られ、多くの人が訪れます。



雲南市役所 産業観光部 観光振興課 電話：0854-40-1054



益田市 中国自然歩道 双川峡

落石により平成22年から立ち入り禁止となっていた「双川峡」の落石対策工事が令和4年3月に完了し、同年4月から12年ぶりに開放されました。

双川峡には、落差20mの養戸の滝や高さ43mの大イチョウがあり、滝の正面に立つこの大イチョウは旺盛で枝ぶりは見事です。

双川峡のある美都町は柴犬の発祥の地として有名で、柴犬の祖である「石号」の記念館や美肌の湯として有名な美都温泉「湯元館」などがあります。双川峡周辺の施設をめぐるスタンプラリーなどもありますので、双川峡と一緒に周辺施設も周遊してみたいはいかがでしょうか。

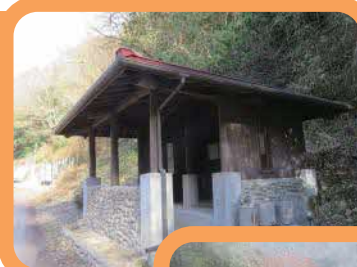
益田市役所産業経済部観光交流課 電話：0856-31-0331

江津市 邑南町 中国自然歩道 千丈溪

県立自然公園に指定されている「千丈溪」は平成25年の豪雨により大きく被災し、その後も落石、大雨により破損し通行できない状況が続いていましたが、令和5年3月に開放できる見込みとなりました。令和4年秋には一時的に開放し、開通イベントを実施したところです。

トイレと東屋の修繕を行い、案内看板とベンチを設置したことで、来訪者からも喜びの声が多く聞かれました。

峡谷は高低差140m、延長4.8kmにわたって続いており、「千丈溪24景」といわれる県下屈指の景勝地があります。秋の紅葉をはじめ春の新緑と、四季を通じてその絶景を満喫できます。



江津市役所商工観光課 電話：0855-52-7494 邑南町役場産業支援課 電話：0855-95-2565

三瓶自然館サヒメル 最新のプラネタリウムにリニューアル!

POINT
1

限りなく本物に近い
美しい星空

POINT
2

三瓶から見える
星空を
リアルに再現

POINT
3

最新のレーザー光源
プロジェクター
による4K映像



光学式プラネタリウム「インフィニウムΣ」を中国・四国地方で初めて導入しました。今回の更新では、三瓶から見られる星空を忠実に再現できるよう、三瓶自然館のための特別仕様となっています。限りなく本物に近づいたプラネタリウムの美しい星空をお楽しみください。

三瓶自然館サヒメル 春の企画展 KAGAYA 星空の世界

開催期間 2023年3月11日(土)～5月28日(日)

プラネタリウム映像クリエイターで星空写真家でもあるKAGAYAの代表作を一堂に集めた企画展を開催します。

作品は大きく分けると、デジタルペインティングと星空写真があります。デジタルペインティングは、星座や星の神話を題材にしたものや、宮沢賢治「銀河鉄道の夜」の場面を描いたものなど緻密で透明感のあるイラストです。

一方、星空写真は、世界を駆けめぐって撮影した星のある風景や、壮大な宇宙の時間の一瞬を切り取ったような作品となっています。天空を私たちとつながった自然と捉えるKAGAYAの世界をお楽しみください。



KAGAYA (カガヤ)

宇宙と神話の世界を描くアーティスト。プラネタリウム映像クリエイターとして手がけた「銀河鉄道の夜」は全国で上映され観覧者数100万人を超える大ヒット。一方で写真家としても人気を博し、ベスト版写真集『Starry Nights—The Best of the Best』等を刊行。星空写真は小学校理科の教科書にも採用される。写真を投稿発表するTwitterのフォロワーは約90万人を超える。

天文普及とアーティストとしての功績をたたえられ、小惑星11949番はkagayayutaka(カガヤユタカ)と命名されている。



アルテミス



遺跡の島の南十字星

令和4年12月、

隠岐ユネスコ世界ジオパークが再認定されました！

平成25年からユネスコ世界ジオパークに認定されている隠岐諸島。認定を継続するためには4年に1度実施される再認定審査をクリアしなければなりません。

現地調査のため、令和4年9月に、ユネスコから派遣された二人の審査員が来島し、隠岐においてジオパーク活動がどのように取り組まれているか、また、どのような成果が現れているのかを見ていただきましたので、その様子をお届けします。

あふれる魅力が改めて世界に認められた隠岐ジオパーク。みなさんも、隠岐の豊かな自然や人の営みに触れてみませんか。



審査員のお二人はスペインとフィンランドからお出かけいただきました。

途中で台風が隠岐を直撃！しかし、台風一過の青い空と海、赤壁と緑の草原のコントラストが素晴らしい眺めでした。

知夫里島の赤壁は、大地の成り立ちを間近に感じる事のできるダイナミックなジオサイトの一つです。



隠岐高校の生徒たちが日々取り組んでいるジオパークに関する学習の状況を英語で発表しています。

生徒たちの表情はいきいきとしており、自分たちの学びに誇りを持ち、隠岐の自然をみんなで守っていこうという意気込みが伝わってきました。

これからも活躍が楽しみです！



「なぜここにダムができたのか？」そんなことをふと疑問に思っ、ナソトキの旅に出るのもおもしろいかもかもしれません。

ダムは人工物なのにジオパークと関係があるの？と思われるかもしれませんが、隠岐片麻岩が、銚子ダムとのつながりを私たちに伝えてくれます。

～隠岐ジオパーク推進機構の活動紹介～

島根県の「自然公園を活用した誘客促進補助金」を活用した自然体験ツアーをご紹介します！

島根半島東部ナショナルパークライド2022

実施団体：美保関地域観光振興協議会

七類港をスタートし、島根半島東部を巡るロングコース（約91km）とショートコース（46km）のサイクリング大会を実施しました。

島根半島・宍道湖中海ジオパークでもある島根半島東部の自然を満喫しながら、県内外から集まった総勢159名が大山隠岐国立公園内を疾走。休憩ポイントでは地元素材を使ったグルメも堪能し、参加者も大満足の日となりました。



桂島体験プログラム

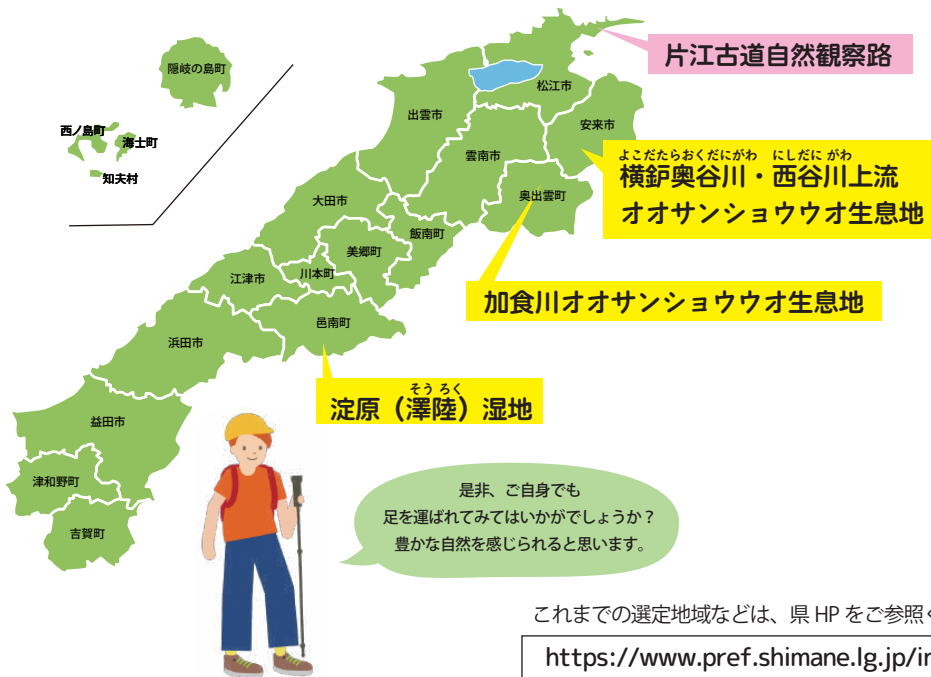
実施団体：島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会

夏休みを利用し、小中学生とその保護者を対象としたジオパーク学習を、松江市島根町の桂島で4回実施しました。総勢124名が大地の成り立ちと自然・生態系・人々の営みなどの繋がりについて学習しました。その後、海辺の生き物観察や貝採集、海のアクセサリー、ジオラマ作りなどの自然体験を通じて環境について学びました。子供も大人も楽しみながらジオパークについて学んだ一日となりました。



令和4年度

みんなでつくる身近な自然観察路1カ所 みんなで守る郷土の自然3カ所選定しました。



みんなでつくる身近な自然観察路

島根県では、居住地やその周辺の身近な自然において、昆虫や野鳥等の小動物や植物の観察など自然に親しむことに適した歩道等を選定しています。身近な動植物とふれあい、自然を観察することを通じて、地域における自然保護教育活動の拠点として活用されることを期待しています。

みんなで守る郷土の自然

島根県では、身近な生活環境の中にある動植物の生息地や地域住民のシンボルとして親しまれている自然環境を選定し、地域の自発的な保全活動を支援しています。地域コミュニティの自然保護思想の高揚を促し、住みよい地域社会が形成されることを期待しています。

是非、ご自身でも足を運ばれてみてはいかがでしょうか？豊かな自然を感じられると思います。

これまでの選定地域などは、県HPをご参照ください。

<https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/nature/shizen/shimane/>



生物多様性自然観察会 & 自然観察のススメ

島根県では、昨年度に引き続き生物多様性の普及啓発を図るため、自然観察会を松江市美保関町～津和野町の青野山まで県内幅広い場所で開催しました。今年度は、みんなでつくる自然観察路を開催地として地元の活動団体とタイアップした形式で開催し、企画の内容の立案、実施まで地元の方と一緒にやりました。これまで観察会を実施したことがない団体からは「やってみると非常に好評だった」などといった感想も聞くことができました。

令和4年度開催場所

- 惣津海岸磯の観察地（松江市美保関町）
- みほの岬自然観察路（松江市美保関町）
- 荘厳寺山探勝路（出雲市大社町）
- 鳶ヶ巣城址自然探勝路（出雲市東林木町）
- 有福温泉自然観察路（江津市有福温泉町）
- 青野山探勝路（鹿足郡津和野町）

なお、自然観察は、特別な地域でなくても、皆さまの身近なところでも出来ます。県では、そうした身近な場所でも自然観察をしてもらうためにリーフレットを作成しています。HPよりダウンロードできますので、イベント等でもご活用ください。

<https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/nature/shizen/shimane/minnadetukuru/>



新任島根県自然保護レンジャー研修会を開催しました！！



委嘱替えの年であった令和4年度は4月1日より166名の方が第20期自然保護レンジャーに委嘱され、その内、35名の方が新たに自然保護レンジャーとなりました。令和4年7月23日(土)には国立三瓶青少年交流の家周辺を会場に新規自然保護レンジャー向けの内容で研修会を開催しました。

自然環境課職員による自然公園法や自然保護レンジャー活動、当課関係のボランティア制度等についての講習に続き、日本赤十字社からお越しいただいた講師2名より救急法講習会をしていただきました。

はじめに澤田救急法指導員から「人命救助の心得」「AEDの使い方」など、実際に声(呼びかけ)を出しながらAEDを使い、心肺蘇生法などを学びました。次に、福田救急法指導員から、熱中症や野外で出会う「危険」への対策と救急法など、レンジャー活動を行う上で身に着いていると役立つ知識について講義をしていただきました。



午後は三瓶自然館サヒメル安藤研究員から「危険生物」講習をしていただきました。安藤研究員の実体験も踏まえた講義を聞いた後、野外でツタウルシなどの身近で観察できる危険生物や三瓶山に生息する哺乳類等について学びました。

研修会に参加されたレンジャーさんからは「人形やAEDを使った研修は初めてだったので勉強になった」「救急法講習は何度受けていても参考になるので毎回やって欲しい」などの感想もいただき、今回の研修のように、レンジャーの皆さんが活動される中で、いざという時に活かされる知識を得ることが出来る取り組みを、レンジャー皆さんの活躍の一助となるよう今後も行っていきたいと思います。

～音・風・味・香り・温もり 見つける 感じる 伝えあう～

ネイチャ・フィーリング研修会を開催しました

令和4年6月25日(土)・26日(日)の2日間で「ネイチャ・フィーリング研修会」を島根県と(公財)日本自然保護協会(NACS-J)の主催、国立三瓶青少年交流の家、島根県自然観察指導員連絡協議会の共催で開催しました。

県では「愛する自然があるから、もっと沢山のの人に自然の魅力を伝えたい。島根県は、魅力を伝える人づくりに力をいれる」ことをテーマに、多くの方々に自然観察の機会を提供していただく指導員等の育成に力を入れています。そして、一人でも多くの方が、様々な場所で自然に触れて、自然に愛着をもってもらいたいと考えています。



そうした中で、今年度は、指導員のスキルアップを目的に『老若男女、からだの不自由な方も含めて、誰とでも五感をフルに使って自然観察し、感動を分かち合い、自然のしくみに気づき伝え合うということが特徴であるネイチャ・フィーリング研修会』を開催し、現場で活躍される自然観察指導員や森林インストラクター、自然保護レンジャーを中心に34名の方に参加いただきました。

研修中には「目の不自由な方に色をどう伝えればよいのか?」「見えるからこそ恐怖心があり、生きものを触れない人がいる場合はどうすればよいのか?」といった質問がされたり、研修の最後には「五感を使って自然の秘密を発見すると、博士みたいな気分になった」「からだの不自由な人との観察は高度だと感じた」「種名など知識がなくても深められるため、逆に自然観察会のハードルが下がった思いだ」といった感想をいただきました。



令和4年度 自然保護関係表彰受賞者の紹介 (自然環境課)

■ 環境保全功労者に対する知事感謝状

吉賀町 榎 頼一 さん

しまねレッドデータブック絶滅危惧I類に選定され、島根県希少野生動物植物の保護に関する条例で指定されている「ヒメバイカモ」の希少野生動物植物保護巡視員として、生育環境の保全や、適地への移植、違法採取防止のパトロール等を行い、希少種個体群の保護・増殖に大きく貢献している。

邑南町 一般社団法人コミュニティパートナーズ

長年にわたり地元の貴重な自然環境保全に取り組み、自然観察会等を実施している。また、県内でも貴重な湿地植物が生息している淀原澤陸地において、野生動物植物の調査研究に協力するなど自然保護意識の普及啓発にも大きく貢献している。

■ 自然歩道関係功労者表彰(自然環境局長)

雲南市 高橋 幸子 さん

38年間の長きにわたり県自然保護レンジャー第1期生として活動を継続。利用者の安全性・利便性向上のため竜頭八重滝県立自然公園の龍頭が滝、八重滝遊歩道の巡視パトロール・木道点検・報告及び休憩所の管理状況確認や公衆便所のトイレトイレットペーパー補充などを自主的に実施。巡視は年10回程度で四季折々の自然観察や公園施設の維持管理状況を県へ報告している。

また研修会に参加し常に研鑽を重ね、自然公園内の環境保全活動や希少野生動物植物違法採取防止の啓発活動にも積極的に参加するなど、熱心に自然保護活動に取り組み、自然保護行政の推進に貢献している。

■ 自然公園指導員表彰(自然環境局長)

隠岐の島町 野邊 一寛 さん

大山隠岐国立公園隠岐地区を中心に年間を通じて活動し、希少植物ナゴランの分布状況調査や外来種オオキンケイギク被害の防止、登山道や遊歩道、施設の損傷等に関する情報を管理者へ情報提供している。また、利用者や観光客へのマナー指導やガイドのほか、トレッキングルートの確認作業を通じてトレッキングを主体とした通年型観光の検討や、小・中・高校生に対する環境学習など自然環境保護思想の普及啓発に尽力している。

■ 地域環境保全功労者環境大臣表彰

大田市 大田市立池田小学校

多年にわたり大山隠岐国立公園三瓶山に生息する希少植物ヒロハノカワラサイコやユスズグサ等について、地元自然保護団体と共に環境学習を継続し、保全活動に取り組んだ。

また、毎年開催される「クリーン三瓶」へ参加し三瓶山の自然環境への理解を深め、関係機関と共に三瓶山周辺の環境保全に取り組むなど環境保全意識の気運の醸成に貢献した。

■ 自然公園関係功労者環境大臣表彰

隠岐の島町 木谷 武彦 さん

多年にわたり環境省自然公園指導員として、大山隠岐国立公園隠岐地区で活動を行い、その後は観光協会理事として自然を生かした観光客の受け入れ拡大に尽力した。県外からの修学旅行生に対して民泊や自然観察会など自然体験を中心に行い、自然環境保護思想の普及啓発に尽力している。また、浄土ヶ浦園地を中心に自然公園の巡回パトロールを行うほか、隠岐の島町から受託した休憩所の運営を行いながら来訪者への自然保護思想の普及啓発に貢献している。

■ 「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰

浜田市 はりも山公園手づくり委員会

平成12年から荒れた里山を再生する取組として活動を開始した。ボランティアで針葉山を地道に整備し、東屋、展望台、水洗トイレのほか、誰もがアクセスしやすい登山道路など手づくりで公園を整備した。

また地元自治会を中心にボランティア活動や植樹会などの各種イベントを実施するほか里山の自然環境づくりに取り組み、自然観察指導員及び森林インストラクター資格保持スタッフによる自然観察会の開催など自然とのふれあいを通じて自然保護思想の普及啓発に尽力した。

■ 島根県各種功労者表彰(自然保護)(環境保全)

大田市 静間の名所旧跡を守る会

多年にわたり近藤ヶ浜ハマナス自生地の遊歩道整備、巡視、維持管理のほか、海岸清掃や草刈り等の維持管理や強風対策として防砂柵の設置及び維持管理を実施し、地元小学生及びまちづくりセンターと連携した自然環境保全活動にも尽力している。

新着NEWS 令和5年6月～

アメリカザリガニ・アカミミガメが 特定外来生物に指定されます！

外来種(外来生物)とは、人間活動にともない外国から日本に持ち込まれた生き物のことで、特に生態系への影響が深刻な生物を「特定外来生物」として指定されています。

このたび条件付きで「特定外来生物」に指定されたアメリカザリガニとアカミミガメは、昭和の初期にアメリカから持ち込まれましたが、繁殖力が非常に強く、絶滅危惧種の水生昆虫などへの脅威となっていますが、多くの家庭で飼育されていることから、これまで規制が見送られていました。

令和5年6月からは輸入・販売や放出は罰則付きで厳しく禁止する一方で、一般の方が野外で捕まえてペットとして飼育したり、個人の間で無償譲渡したりすることは規制の対象外となっています。現在、飼育されている方は、引き続き愛情を持って最後までお世話をしてください。



写真提供:環境省



しまねの外来種ガイド

外来種について詳しく知っていただくため、「しまねの外来種ガイド」を発行しました。ぜひご覧ください。



表紙・QRコード

規制の内容や、アメリカザリガニ・アカミミガメの飼養等に関する国民の皆様からの問い合わせにお答えします

環境省 アメリカザリガニ・アカミミガメ相談ダイヤル

ナビダイヤル

0570-013-110

【IP電話等の場合】06-7739-7899

受付時間 AM9:00～PM5:00(12/29～1/3は除く)

※通信料は発信者の負担となります。

